

2022年6月5日(日)+録画放送

主催:(一般社団法人)障がい児成長支援協会

共催:オネストリ株式会社 放課後等デイサービス「はぴねす」

保護者のための講演会〈第2部〉

支援学校と支援級と

通常級の違いは何か？

- 一度進路を間違えると修正は難しくなります
- 中3卒業後を考えて、今の療育を考えましょう！
- 特別支援のある高校の紹介！

(一般社団法人)障がい児成長支援協会 協会長

中部学院大学 山内康彦 (学校心理士・ガイダンスカウンセラー)

恐るべし！特別支援教育の就職率

■特別支援学校中学部の進学率は、 . . .
岐阜県 98.4% (全国 98.3%)

■特別支援学校高等部卒業者の就職率は . . .
岐阜県 38.0% (全国 32.3%)

なんと3人に一人しか就職できていない！

これが現実！「保護者として」「学校として」
「行政として」「放デイ」として、今何ができる
のか？を早期から考えていく必要がある。

『天を望みて、地を歩む』

→18歳の出口を考えて今の療育を行う

なぜ、「今が大切」と今ばかり見るのか？

→毎年変わる担任、責任がもてない？

《まず18歳以降の三つの生き方を考える》

- 1 手帳を使って「障害者」として生きていく
- 2 手帳をもたずに「健常者」として生きていく
- 3 1と2の合わせ技、手帳と学歴をもつ生き方

それでは、中三以降どのような道に進むか

「特別支援学校高等部」進学か？

それとも「高等学校進学」か？

×現在中3卒業後社会に出る子は100人に一人？

1 特別支援学校高等部進学の場合

○通常の支援学校高等部に進学

○高等特別支援学校高等部進学 (学力必要)

2 高等学校進学の場合

○通常の公立・私立の高等学校 (内申点必要)

○特別な高等学校（支援学級から進学可能）

（例）通信制サポート高校や専修学校

注意！ 療育手帳がなくなる？

一般的に知的に低いお子さんは、成長とともに年々差が広がると言われるが

◎特に『自閉症スペクトラム』のお子さんの多くが知能指数（IQ）が上がる子が多い

※結果として療育手帳がなくなる！

なぜか？

知能検査は、“初めて会った人が” “初めての場所で” “初めての内容を” “言葉を中心に” 検査を行う。→これが苦手→本来の力より低く出る

◎その後の教育・療育で慣れてくる→高くなる

今日のお話の内容

(子どもたちのためになるよい教育・療育を知ってもらいたい。)

- 1 支援学校～通常級で何が違うのか (1)
- 2 何が違うのか (2) 支援体制
- 3 何が違うのか (3) 進路

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

支援学校は、生活単元中心
学習よりも、「自立して生きていく力」を身につけていくことが最優先！！

☆小1では、ほとんど学習を行わず身辺自立最優先！！

☆小3から「ひらがな練習」ということもある。

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

支援学級（知的学級）は、

生活単元＋教科の授業

基本的に支援学校と同じ！

しかし、その子に合った学習も進めていく。

通常級の交流もその子に合わせてある。

☆「ひらがな」は小1から指導する。

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

支援学級（情緒学級）は、教科の授業＋自立活動（生単無し）
基本的に学年の教科学習を行い、SSTなどの自立活動を行う。→その子によるが、**通常との交流も多く、通常学級に戻るケースも多い。**

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

通級指導教室は、

「ことば」と「情緒」の2種類
が多い

通常級に籍を置き、週に1～
数時間抜き出しで個別の指導
を受ける。

自校の場合と他校の場合がある

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

通常学級は、教科の授業中心

原則、担任一人で、30人の子どもたちを担任。

合理的配慮を行わなくてはならないが、現実には難しい。

※通常級に6.5%の発達障がいの子ども

どのような基準で分けるのか？

判定は、市町村教育委員会

就学指導委員会・教育支援委員会等の名前

(教育委員会担当職員＋校長会代表＋専門医＋支援学校教員＋発達支援センター＋教育長等)＋保護者の願い等書かれた書類

①身辺自立ができているか。

②知的な遅れがあるか。

③情緒面の問題がないか。

※原則定例・・・臨時も有

変更する場合は、

まず、校内の支援委員会で決定

(校長＋教頭＋主幹教諭＋教務＋学年主任＋コーディネーター
＋養護教諭＋支援学級担任＋通級の先生)

校内委員会で変更の必要があるとされると

まず、保護者に連絡

保護者の理解が得られると

教育委員会に書類が行く。

→校内委員会の通り進む

今日のお話の内容

(子どもたちのためになるよい教育・療育を知ってもらいたい。)

- 1 支援学校～通常級で何が違うのか (1)
- 2 **何が違うのか (2) 支援体制**
- 3 何が違うのか (3) 進路
- 4 身につけなくてはいけない力と就労について

支援学校→担任が2人

支援学級→担任が1人
+支援員（県・市町村）

通常学級→担任が1人
+支援員（県・市町村）

☆小3からは基本担任1人

今日のお話の内容

(子どもたちのためになるよい教育・療育を知ってもらいたい。)

- 1 支援学校～通常級で何が違うのか (1)
- 2 何が違うのか (2) 支援体制
- 3 何が違うのか (3) 進路

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

支援学校は、高等部まで支援学校

通常の学校（支援学級）への変更は、事例としてほとんど無い。

→よほどのことがないかぎり通常の学校が受け入れない。

→手帳を使って、障がい者枠でよりよい就職先をめざす。

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

支援学級（知的）は、最終的に支援学校高等部→就職が多い

《理由》

知的な遅れがあるため、高等学校の学習についていけず、卒業することができないと判断される。高等学校は、留年がある。

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

支援学級（情緒）は、手帳がないと高等学校進学をめざさなくてはならない。（支援学校定員一杯）

《理由》

平成10年から支援学校在籍者は2倍に増え、日本全国で2300以上の支援学校クラスが不足状態

支援学校、支援学級、通級、通常級の違い

通常学級や通級は、原則高等学校進学をめざさなくてはならない。
(通級は通常級にもどす努力)

《理由》

現在は、単位制や通信制など様々な高等学校ができています。

→将来をみすえた支援が必要！！

①公立高校 特別支援対応校

(定時制・単位制・インクルーシブ枠・通級)

- 定時制高校 . . . ◎安い ○4年制も有
(今は、“夜間”とは限らない)
- 単位制高校 . . . ◎安い ◎登校が少
(学校によって様々な仕組み)
- インクルーシブ枠
(通常の高校に特別枠が数名ある)
- 通級 小中と同様の制度が高にも
(まだまだ見切り発車のところがある)

②私立高校 特別支援対応校 (実質少人数で丁寧な支援・指導)

○支援学級や内申点がなくても受け入れOK

○卒業後の推薦枠を多く持っている

※高校から中学校に事前の説明に来ている

※中学の先生に問い合わせれば教えてもらえる

(例) 星槎中学・星槎高校

本当の定員は1クラス40名であるが・・

実際は20名程度で手厚い支援が受けられる

③通信制高校

(たくさんの支援が必要な生徒も受け入れ可)

○出席日数に対して理解がある

○74単位で高卒という、少ない学習内容

○少人数・個別中心の指導

※「スクーリング」には参加する必要あり

▲学費が通常の高校の二倍近く必要になる

・通信制高校行ってもいろいろなタイプがある

通信制高校の例

明蓬館SNEC高等学校

- 品川・横浜関内・長野等全国にある
- 入学試験は事前提出の作文と面接のみ
- 心理師（士）等、専門職が在勤
- ◎小中の学び直しが高校の単位になる
- ◎“マイプロ”と言われるその子の興味のある学びをまとめた内容が高校の単位になる

※通信制高校といっても様々なタイプがある

④専修学校（専門学校＋通信制高校）

（福岡まで出れば多くの種類の学校がある）

※「専門学校」＋「通信」で学習内容は多い
（その内容に興味があれば◎）

▲「専門学校」＋「通信」で学費が少し高い

○基本、毎日朝から夕方まで出席する必要あり

○74単位＋専門学校の学習

（注意：国家資格は受かるとは限らない）

○基本、1クラス40人近い大人数の学習

・専門学校の内容にはいろいろなタイプがある

入学できることより「卒業できる」学校か？ 『卒業後の進路は大丈夫か？』を考える

《進路選びのポイント》

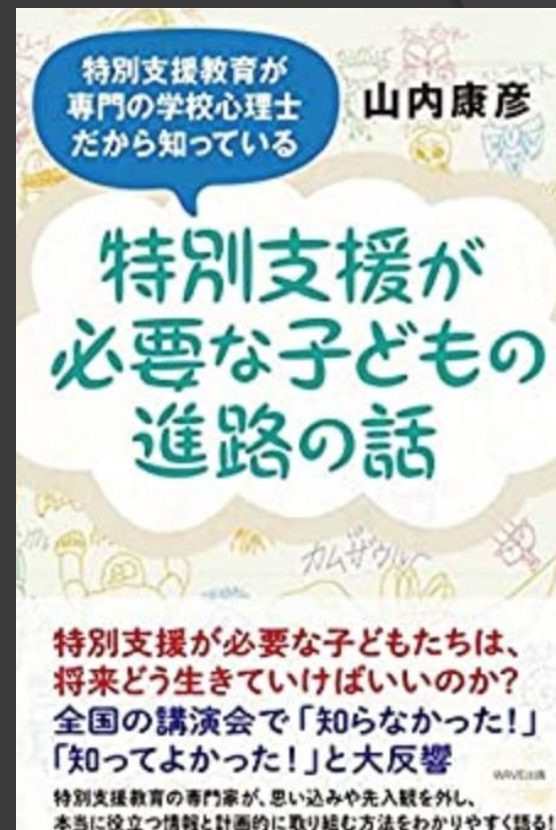
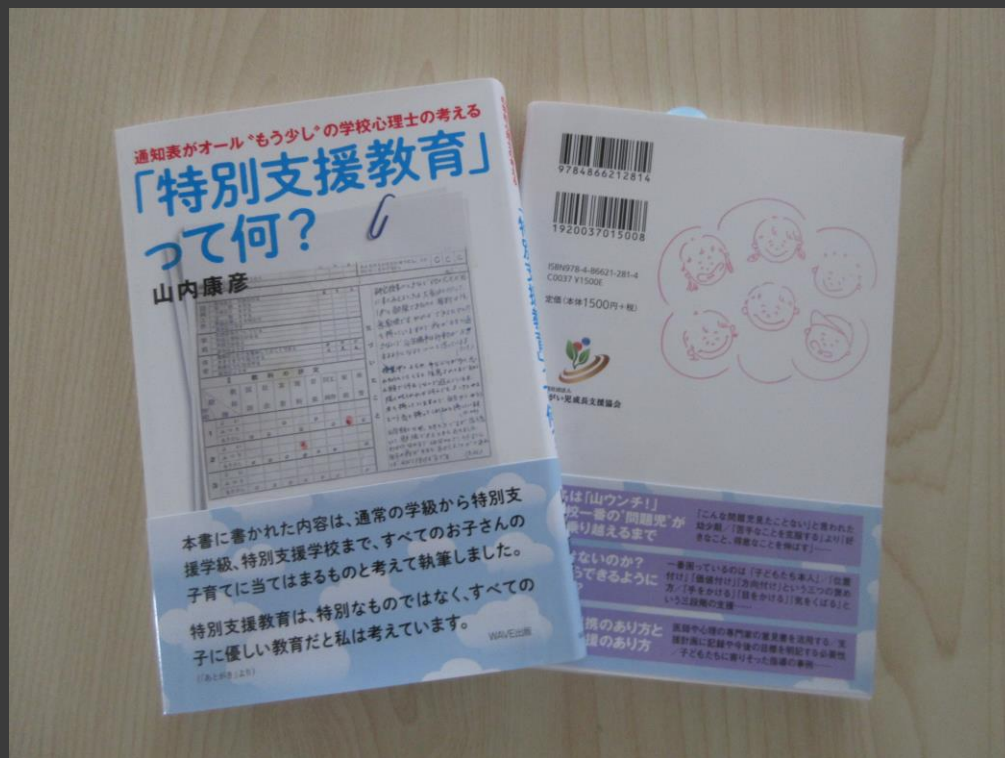
- ①入学試験は何か（学力試験の有無・面接）
- ②進級・卒業の条件
（期末試験の有無・卒業単位数74～110）
- ③先生の専門性（どんな先生がいるのか）
- ④出席日数が一定量必要な学校なのか
- ⑤少人数・個別対応をしてくれる学校か？
- ⑥卒業後の進路や就労の面倒を見てくれるか
- ⑦卒業までの学費はどれぐらい必要か？

今日のお話の内容

(子どもたちのためになるよい教育・療育を知ってもらいたい。)

- 1 支援学校～通常級で何が違うのか (1)
- 2 何が違うのか (2) 支援体制
- 3 何が違うのか (3) 進路

困り感を共感的に受け止め、早期から適切な支援を継続的に行うことが大切



特別な支援は、もはや特別なものではありません
全ての子どもたちにとってやさしい支援なのです

ご清聴ありがとうございました。

4月からFMラジオで毎週放送 「山内先生のランチトーク」

4 / 5 ~ 毎週火曜日 12時 ~ 13時

① 「愛知北FM放送」で検索

② 下へ → 「JCB Aで聴く」をクリック

③ 白い “▶マーク” で再生開始!

特別支援に関わる様々なお話しを気軽に聴けます。

無料個別相談会を行います
6月25日(土)・26日(日)終日

会場：はびねすジヨブ王禅師
(川崎市麻生区)

※長野や長岡、遠方の方はZOOMに
よる個別相談会可能です！